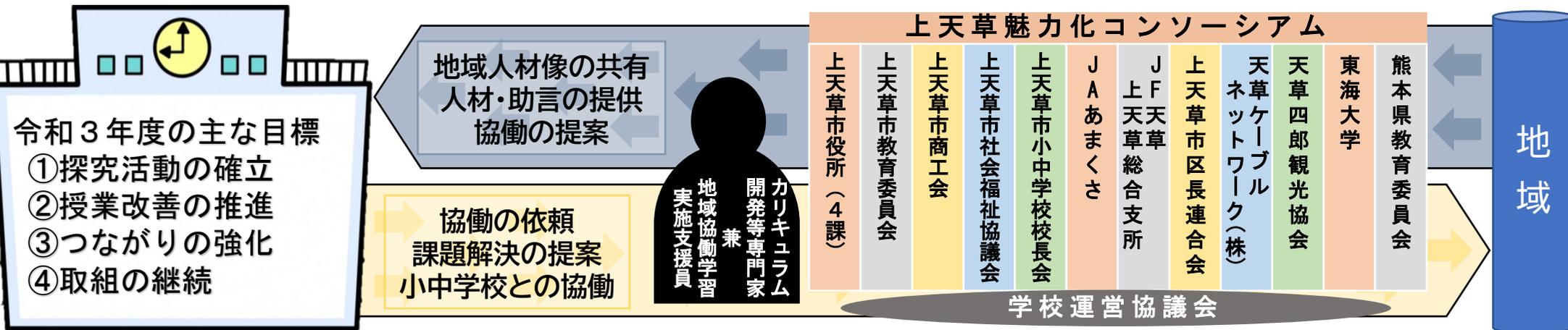


「ひと・もの・資源の宝庫」上天草で未来を切り拓くリーダーの育成

Society5.0に主体的に対応できる地域人材を育成するため、地域や大学等と協働した学校設定科目を軸としたカリキュラム開発を行う。地域との協働を強化するとともに、上天草高校の魅力化を推進し（上天草を愛し）、地域への課題意識や貢献意識を持ち（上天草を支え）、解決に向けて主体的に思考・行動する（夢を追い続ける）人材を育成していく。



令和3年度の主な取組み状況

- ①総合的な探究の時間に全学年共通のゼミ制導入
 - ・個人の興味・関心に応じた自由な探究活動
 - ・外部人材活用による職員の負担軽減
 - ・地域が生徒を直接指導できる仕組みの確立
- ②地域と協働した「持続可能なカリキュラム・マネジメント」
 - ・「共通言語」としてのルーブリック評価の活用
 - ・地域と協働したルーブリックを見直す仕組みの確立
- ③校外との「つながり」の強化
 - ・ICTを活用した遠隔地とのコミュニケーション
 - ・コーディネーターの機能強化
- ④事業の継続
 - ・熊本県独自の新事業の活用
 - ・コンソーシアムの機能を学校運営協議会へ引き継ぎ

成果

- ①ゼミ導入により探究活動の質向上
→ 探究活動自己評価の改善
- ②地域と協働した
カリキュラム・マネジメントの仕組み構築
- ③遠隔地の専門家による講義数増加
- ④クリエートハイスクールで取組の継続

課題

- ①探究活動後半部分の改善
- ②カリキュラム・マネジメントの実践
- ③大学生とのつながり強化
コーディネーター機能の分散
- ④情報発信の改善